

## ○九州148号 アケムラサキ

### 1. 来歴

- 1) 系統名 九州148号 (旧系統名：九系233、九系96163-4)
- 2) 交配組合せ アヤムラサキ (母) × 九系174 (父)
- 3) 用途 色素、パウダー、ペーストなど

### 2. 特性の概要

#### 1) 主な特性

いもの形状は長紡錘形、揃いは中～やや不整である。いもの大きさは中～やや大、揃いは中である。条溝は微、裂開および皮脈は無である。いもの皮色は濃赤紫、肉色は濃紫～紫である。外観はやや上である。直播栽培には適さない。

育成地における上いも重は、コガネセンガンより2～12%低く、アヤムラサキ、ムラサキマサリとの比較では同程度かやや上回った。切干歩合はコガネセンガン、アヤムラサキ、ムラサキマサリと同程度であった。上いも1個重はアヤムラサキやムラサキマサリに比べやや大きい。アントシアニン色価は、アヤムラサキ、ムラサキマサリに比べやや高い。蒸しいもの食味は劣る。サツマイモネコブセンチュウ抵抗性、ミナミネグサレセンチュウ抵抗性は強で、コガネセンガンより強い。貯蔵性は易である。

#### 2) 育成地における栽培試験成績

##### 平成13・14年 育成地の成績 (生産力検定試験)

試験年度	栽培条件	品種 または 系統名	萌芽 性	上いも重 (kg/a)	切干歩合 (%)	でん粉歩留 (%)	上いも1個重 (g)	株当たり 上いも 個数	アント シニン 色価	センチュウ抵抗性 ネコブ サレ	貯蔵 性	
平13	標準	九州148号	竹不良	282(105)	35.5	22.9	277	2.8	8.1	強	強	易
		(標)コガネセンガン	竹良	269(100)	34.9	23.8	252	2.9	—	竹弱	竹弱	易
		(比)ムラサキマサリ	中	289(107)	37.7	24.6	187	4.1	6.9	強	強	易
		(比)アヤムラサキ	竹良	235(87)	35.8	23.0	208	3.1	6.5	強	強	易
長期	マルチ	九州148号	中	351(89)	38.1	24.1	288	4.3	11.7	—	—	—
		(標)コガネセンガン	中	394(100)	36.0	24.9	266	5.0	—	—	—	—
		(比)アヤムラサキ	竹良	299(76)	37.0	23.7	272	3.9	6.7	—	—	—
		九州148号	—	210(98)	32.7	20.5	167	3.4	—	—	—	—
平14	標準	九州148号	竹良	281(86)	33.8	20.7	240	3.1	7.3	強	強	易
		(標)コガネセンガン	中	325(100)	35.7	23.7	239	3.6	—	中	竹強	易
		(比)ムラサキマサリ	中	254(78)	37.4	22.8	196	3.4	6.0	強	強	易
		(比)アヤムラサキ	中	282(87)	35.7	22.8	211	3.5	6.6	中	強	易
長期	マルチ	九州148号	中	407(88)	35.7	22.7	350	3.9	10.7	—	—	—
		(標)コガネセンガン	中	464(100)	35.6	25.5	422	3.7	—	—	—	—
		(比)ムラサキマサリ	中	429(92)	36.9	24.2	308	4.7	6.3	—	—	—
		(比)アヤムラサキ	竹不良	282(61)	34.0	21.6	231	4.1	6.3	—	—	—

注) 上いも重の()内は、標準比(%)。

## ○九州153号

### 1. 来歴

- 1) 系統名 九州153号  
(旧系統名：九系260、九系00118-2)
- 2) 交配組合せ  
九州135号(母) × 九州102号(父)  
2000年交配、2001年以降、選抜および育成。
- 3) 用途 焼耐用

### 2. 特性の概要

萌芽性はやや良である。本圃における草型はやや匍匐型、茎の着色は中、毛茸は微、節の着色は中である。頂葉色は淡緑で、葉色は緑、葉形は波・歯状三角形である。いもの皮色は淡黄白、肉色は黄白である。いもの形状は短紡錘形で、大きさは中、形状整否はやや整で、大きさの揃いは中である。いもの条溝は少、裂開は微、皮脈は無で、いもの外観は標準栽培で中、長期マルチ栽培でやや上である。

上いも重は、標準栽培でコガネセンガン比92%、長期マルチ栽培で91%とやや低かった。切干歩合・でん粉歩留まりとともに、コガネセンガンやシロユタカより2～3%程度高かった。単位面積当たりのでん粉重は、コガネセンガンと同程度で、シロユタカより高かった(表1)。

蒸しいものBrixは5.0でコガネセンガンと同程度、黒変も中でコガネセンガンと同じであった。蒸しいもの香りはやや上で、コガネセンガンと同程度でシロユタカより優れた。

サツマイモネコブセンチュウ抵抗性は強、ミナミネグサレセンチュウ抵抗性は中であった。貯蔵性はやや易で、コガネセンガンやシロユタカより優れた。

系統適応性検定試験において、上いも収量は、長崎県と宮崎県では標準品種を上回った。切干歩合とでん粉歩留まりは、配布した3県ともに標準品種より高かった。でん粉重は、長崎県と宮崎県で標準品種より多く、鹿児島県では標準品種並みであった。

特性検定試験において、黒斑病抵抗性は弱、サツマイモネコブセンチュウ抵抗性は強と判定された。

表1. 育成地の成績(平成16年 生産力検定予備試験、平成17年 生産力検定試験)

栽培条件	品種 または 系統名	試験 年度	萌芽性	上いも重 (kg/a)	同左 標比 (%)	切干歩合 (%)	でん粉歩留り (%)	でん粉重 (kg/a)	同左 標比 (%)	上いも1個重 (g)	いもの 外観	抵抗性 ネコブ サレ		貯蔵性
標準栽培	九州153号	平16	竹良	352	100	37.1	25.3	89	106	235	中	強	中	中
		平17	竹良	314	85	36.7	26.2	82	92	179	中	強	中	易
		平均	竹良	333	92	36.9	25.8	86	99	207	中	強	中	竹易
(標準)	コガネセンガン	平16	中	353	100	34.9	23.7	84	100	208	中	竹弱	中	中
		平17	中	369	100	35.3	24.3	90	100	265	中	竹弱	中	竹難
		平均	中	361	100	35.1	24.0	87	100	237	中	竹弱	中	竹難
(比較)	シロユタカ	平16	竹良	282	80	35.1	24.2	68	82	238	中	強	竹強	中
		平17	竹良	293	79	32.4	23.4	69	76	206	中	強	竹強	竹難
		平均	竹良	288	80	33.8	23.8	69	79	222	中	強	竹強	竹難
長期マルチ栽培	九州153号	平17	—	444	91	34.8	24.4	108	88	298	竹上	—	—	—
		平17	—	491	100	35.4	25.1	123	100	385	中	—	—	—
		平17	—	526	107	34.8	24.6	129	105	430	中	—	—	—

注) 標準栽培は無マルチ、長期マルチ栽培は透明マルチ。

## ○九州156号

### 1. 来歴

- 1) 系統名 九州156号  
(旧系統名：九系267、九系01007-15)
- 2) 交配組合せ  
九系228(母)×ベにまさり(父)  
2001年交配、2002年以降、選抜および育成。
- 3) 用途 青果用、焼きいも、ペースト、菓子原料

### 2. 特性の概要

標準、早掘のいずれの栽培条件でも「高系14号」より多収であり、切干歩合は「高系14号」並である。いもの外観は「高系14号」よりやや良好である。蒸しいもの肉色は淡黄、肉質は標準でやや粉質、早掘で中であり、食味はやや上である。サツマイモネコブセンチュウに抵抗性を示し、ミナミネグサレセンチュウにも比較的強い。貯蔵性は易である(第1表)。

系統適応性検定試験では、埼玉県と鹿児島県を除いて標準品種より多収であった。いもの外観は埼玉県で中、徳島県でやや下であった他は良またはやや上と優れた。食味は県により評価は異なったが、総じて「高系14号」並みかやや劣った(第2表)。

第1表 育成地の成績(生産力検定予備試験(2005年)と生産力検定試験(2006年)の平均)

栽培条件	品種 または 系統名	萌芽性	上いも重 (kg/a)	同左 標比 (%)	切干歩合 (%)	上いも1個重 (g)	いもの 外観	蒸しいもの				抵抗性		貯蔵性
								肉色	肉質	食味	黒変	ネコブ	ネグサレ	
標準(黒マルチ)	九州156号	やや良	334	125	33.4	195	中	淡黄	やや粉	やや上	中	強	やや強	易
	高系14号	やや不良	268	100	32.1	211	やや下	黄白	中	中	中	やや弱	強	やや易
早掘(透明マルチ)	九州156号	中	152	111	27.5	117	やや上	淡黄	中	やや上	中	—	—	—
	高系14号	中	137	100	28.4	115	中	淡黄	中	中	中	—	—	—

第2表 系統適応性検定試験の成績(2006年)

場所 栽培	品種 または 系統名	上いも重 (kg/a)	同左 標比 (%)	切干歩合 (%)	上いも1個重 (g)	株当り 上いも 個数	いもの 外観	蒸しいもの				判定
								肉色	肉質	繊維	食味	
埼玉標準	九州156号	71	45	32.3	117	2.2	中	灰黄	粘	中	中	×
透明マルチ	標)ベニアスマ	157	100	34.4	250	2.3	中	灰黄	粉	中	中~やや上	
愛媛標準	九州156号	184	149	33.8	146	4.2	やや上	淡黄	中	中	中	△
黒マルチ	標)高系14号	124	100	32.3	111	3.7	中	淡黄	中	中	中	
徳島標準	九州156号	101	111	—	107	3.2	やや下	黄	中	やや少	やや上	×
黒マルチ	標)なると金時	91	100	—	108	2.9	中	淡黄	中	少	やや上	
長崎標準	九州156号	189	166	34.5	124	3.7	やや上	黄	中	中	やや上	○
無マルチ	標)高系14号	114	100	34.4	128	2.2	やや下~中	淡黄	中	少	中	
宮崎標準	九州156号	264	125	31.2	183	3.5	良	淡黄	やや粉	やや多	やや劣	△
黒マルチ	標)宮崎紅	211	100	32.8	191	2.7	中	淡黄	中	中	中	
鹿児島標準	九州156号	136	53	32.9	111	3.5	やや上	黄	やや粉	無	中	△
黒マルチ	標)ベニサツマ	258	100	31.0	300	2.4	中	黄白	やや粉	無	やや上	
沖縄早掘	九州156号	238	192	31.0	112	4.0	良	黄2	中	中	中	△
黒マルチ	標)ベニアスマ	124	100	35.0	91	2.0	中	黄3	中	中	中	

## ○九州159号

### 1. 来歴

1) 系統名 九州159号

(旧系統名：九系266、九系03292-313)

2) 交配組合せ

99L04-3 (母) × 九系236 (父)

2003年交配、2004年以降、選抜および育成。

3) 用途 でん粉、いも粉、でん粉を使ったくず餅などの加工品、焼酎

### 2. 特性の概要

クイックスイートと同じく、でん粉の糊化開始温度が標準品種より20℃程度低い低温糊化性でん粉を有するでん粉原料用系統。いもの皮色は白、肉色は白黄である。上いも重は、標準栽培でコガネセンガン比100%と多収である。切干歩合・でん粉歩留まりともにコガネセンガンより1～2%程度高く、a当たりのでん粉重はコガネセンガン比66～107%である。サツマイモネコブセンチュウ、ネグサレセンチュウ抵抗性はともに強、貯蔵性は中でコガネセンガンより優れる(第1表)。

系統適応性検定試験において、配布した鹿児島では上いも重とでん粉重は、標準のシロユタカ比80%前後を示したが、コガネセンガンより高かった(第2表)。特性検定試験において、黒斑病抵抗性はやや強と判定された。

第1表 育成地の成績(平成18年 生産力検定試験)

栽培条件	品 種 または 系統名	萌 芽 性	上いも重 (kg/a)	同左 標比 (%)	切干 歩合 (%)	でん粉歩留り (%)	でん粉重 (kg/a)	同左 標比 (%)	センチュウ 抵抗性	ネコブ ネグサレ	貯蔵性	糊化開 始温度 (℃)
標準栽培	九州159号	中	272	100	37.2	24.1	66	107	強	強	中	57.6
	コガネセンガン	やや良	271	100	34.8	22.5	61	100	やや弱	中	やや難	74.8
	シロユタカ	良	276	102	34.9	22.2	61	100	強	中	やや易	75.7
	クイックスイート	やや劣	178	65	34.7	21.4	38	62	強	強	難	56.7
長期マルチ栽培	九州159号	—	287	67	34.9	25.4	73	66	—	—	—	—
	コガネセンガン	—	429	100	35.3	25.7	110	100	—	—	—	—
	シロユタカ	—	419	98	33.3	24.2	101	92	—	—	—	—
	クイックスイート	—	319	74	34.6	24.0	77	70	—	—	—	—

第2表 平成18年系統適応性検定試験の成績

場 所	品 種 または 系統名	上いも重 (kg/a)	同左 標比 (%)	切干 歩合 (%)	でん粉歩留り (%)	でん粉重 (kg/a)	同左 標比 (%)	上いも重歩合 (%)	上いも1個重 (g)	1株いもの 数	いもの 判定 外観
鹿児島	九州159号	302	79	34.9	23.6	71	81	99	372	3.0	やや上 △
標準無マルチ	標)シロユタカ	383	100	34.2	23.0	88	100	99	347	4.0	中
	比)コガネセンガン	258	67	34.0	22.0	57	64	95	303	3.1	中

## ○九州161号

### 1. 来歴

1) 系統名 九州161号

(旧系統名：九系275、九系02015-19)

2) 交配組合せ

「九系96013-11」(母) × 「べにまさり」(父)

2002年交配、2003年以降、選抜および育成。

3) 用途 焼きいも、ペースト、菓子原料

### 2. 特性の概要

上いも1個重は少なく、1株いも数は多い個数型の多収系統。いもの皮色は赤で、やや明るさが少ないが、外観はやや上で「高系14号」より優れる。蒸しいもの肉色は淡黄、肉質はやや粉質、黒変度は中で食味はやや上である。系統適応性検定試験では、鹿児島県と沖縄県を除いて上いも重は標準品種を上回った。いもの外観は埼玉、愛媛、徳島県で中、長崎、宮崎、鹿児島、沖縄でやや良～良であった。蒸しいもの食味は徳島で劣り、長崎で優れると評価された(第2表)。

第1表 育成地の成績

系統名	上いも重 (kg/a)	同標準比 (%)	切干歩合 (%)	上いも1個重 (g)	1株のいも数	いもの外観	いもの皮色	センチュウ抵抗性		萌芽性	蒸しいもの			
								ネコブ	ネグサレ		肉色	肉質	黒変	食味判定
標準栽培(黒マルチ) (植付: 5月11日 掘取: 10月1日 施肥量75%)														
九州161号	297	106	36.3	137	5.8	やや上	赤	やや強	やや強	やや良	淡黄	やや粉	やや多	やや上
標準高系14号	281	100	33.0	243	3.1	中	赤	やや弱	やや強	やや不良	黄白	中	やや少	中(標準)
比較 べにまさり	280	100	33.0	234	3.2	やや上	赤紅	中	中	やや良	淡黄	やや粉	中	やや上
比較 べにはるか	270	96	37.1	227	3.3	やや上	赤紫	やや強	やや強	中	黄白	中	中	やや上
早掘栽培(透明マルチ) (植付: 4月17日 掘取: 8月6日 施肥量67%)														
九州161号	157	143	34.0	104	4.0	やや上	赤紫			やや良	淡黄	中	中	やや上
標準高系14号	110	100	32.7	139	3.3	中	赤			やや不良	淡黄	中	中	中(標準)
比較 べにまさり	168	153	30.9	193	2.5	中	赤紅			やや良	淡黄	中	中	やや上
晩植栽培(無マルチ) (植付: 4月17日 掘取: 8月6日 施肥量67%)														
九州161号	<b>221</b>	201	<b>35.8</b>	104	5.6	やや上	赤紫			やや良	淡黄	中	中	やや上
標準高系14号	110	100	32.7	139	3.3	中	赤			やや不良	淡黄	中	中	中(標準)
比較 べにまさり	168	153	30.9	193	2.5	中	赤紅			やや良	淡黄	中	中	やや上

注) 標準栽培のデータは2006年との平均

第2表 系統適応性検定試験の成績(2007年)

場所	品 種 または 栽培系統名	上いも重 (kg/a)	同左標準比 (%)	切干歩合 (%)	上いも1個重 (g)	株当りのいも数	いもの外観	蒸しいもの				判定
								肉色	肉質	繊維	食味	
埼玉標準	九州161号	71	45	32.3	117	2.2	中	灰黄	粘	中	中	×
透明マルチ	標)ヘ'ニアスマ	157	100	34.4	250	2.3	中	灰黄	粉	中	中～やや上	
愛媛標準	九州161号	184	149	33.8	146	4.2	やや上	淡黄	中	中	中	△
黒マルチ	標)高系14号	124	100	32.3	111	3.7	中	淡黄	中	中	中	
徳島標準	九州161号	101	111	—	107	3.2	やや下	黄	中	やや少	やや上	×
黒マルチ	標)なると金時	91	100	—	108	2.9	中	淡黄	中	少	やや上	
長崎標準	九州161号	189	166	34.5	124	3.7	やや上	黄	中	中	やや上	○
無マルチ	標)高系14号	114	100	34.4	128	2.2	やや下～中	淡黄	中	少	中	
宮崎標準	九州161号	264	125	31.2	183	3.5	良	淡黄	やや粉	やや多	やや劣	△
黒マルチ	標)宮崎紅	211	100	32.8	191	2.7	中	淡黄	中	中	中	
鹿児島標準	九州161号	136	53	32.9	111	3.5	やや上	黄	やや粉	無	中	△
黒マルチ	標)ヘ'ニサツマ	258	100	31.0	300	2.4	中	黄白	やや粉	無	やや上	
沖縄早掘	九州161号	238	192	31.0	112	4.0	良	黄2	中	中	中	△
黒マルチ	標)ヘ'ニアスマ	124	100	35.0	91	2.0	中	黄3	中	中	中	

## ○九州162号

### 1. 来歴

- 1) 系統名 九州162号  
(旧系統名：九系277、九系03210-4)
- 2) 交配組合せ  
「コナホマレ」(母) × 「九系98090-10」(父)  
2004年交配、2004年以降、選抜および育成。
- 3) 用途 でん粉・焼酎原料用

### 2. 特性の概要

萌芽性はやや良である。本圃における草型はやや匍匐型、茎長はやや長く、茎の着色は微、節の着色は無である。頂葉色は淡緑で、葉色は緑、葉形は心臓形である。いもの皮色は淡黄白で紅を帯び、肉色は白である。いもの形状は球形で、大きさはやや大、形状整否はやや整で、大小整否は中である。いもの条溝は微、裂開は無、皮脈も無で、いもの外観は標準栽培でやや上、長期マルチ栽培でやや上である。

上いも重は、標準栽培でコガネセンガン比123%と多収で、長期マルチ栽培では99%である。切干歩合・でん粉歩留まりはともにコガネセンガンやシロユタカより3～4%高かった。単位面積当たりのでん粉重は、標準栽培でコガネセンガンやシロユタカより30～40%程度多く、長期マルチ栽培でも20～40%程度多い(表1)。

蒸しいものBrixは4.1でコガネセンガンよりやや高い。蒸しいもの食味はやや下、香りは中で、コガネセンガンより劣る。

サツマイモネコブセンチュウ抵抗性は強、ミナミネグサレセンチュウ抵抗性は中であつた。貯蔵性はやや易で、コガネセンガンやシロユタカより優れる。

系統適応性検定試験の標準栽培において、上いも収量は、配布した長崎県、宮崎県、鹿児島県すべてで標準品種を上回った。切干歩合とでん粉歩留まりは3県ともに標準品種より4～7%程度高かった。でん粉重は3県ともに標準品種より30～80%程度多かつた。判定は3県とも○(優)であつた。しかし、鹿児島県の早堀黒マルチ栽培では、上いも収量が標準比66%と低かつたため、でん粉重も標準比71%と低収であつた。

特性検定試験において、黒斑病抵抗性は中、サツマイモネコブセンチュウ抵抗性も中と判定された。

表1. 育成地の成績(平成19年 生産力検定予備試験、平成20年 生産力検定試験)

栽培 条件	品 種 または 系統名	試験 年度	萌 芽 性	上 い も 重 (kg/a)	同左 標比 (%)	切干 歩合 (%)	でん粉 歩留り (%)	でん粉 重 (kg/a)	同左 標比 (%)	センチュウ 抵抗性		貯 蔵 性	い も の 外 観
										ネコブ	ネグサレ		
標準 栽培	九州	平19	やや良	339	110	39.6	27.0	91	131	強	中	易	やや上
	162号	平20	やや良	352	136	37.7	27.7	98	153	強	中	やや易	やや上
	(標準)	平均	やや良	346	123	38.7	27.4	95	142	強	中	やや易	やや上
	コガネ センガン (比較)	平19	やや良	308	100	34.7	22.7	70	100	中	やや弱	中	中
		平20	やや良	259	100	34.4	24.6	64	100	やや弱	弱	中	やや下
		平均	やや良	284	100	34.6	23.7	67	100	やや弱	弱	中	やや下
	シロ ユタカ	平19	良	321	104	34.9	23.6	76	108	強	中	やや易	やや下
		平20	良	296	114	34.6	24.8	73	115	やや強	やや強	中	中
		平均	良	309	109	34.8	24.2	75	112	やや強	中	中	やや下
長期 マルチ 栽培	九州162号	平20	—	441	99	41.7	30.1	133	118	—	—	—	やや上
	コガネセンガン	平20	—	447	100	35.7	25.2	113	100	—	—	—	中
	シロユタカ	平20	—	374	84	35.8	26.0	97	86	—	—	—	中

## ○九州163号

### 1. 来歴

- 1) 系統名 九州163号  
(旧系統名：九系279、九系03030-5)
- 2) 交配組合せ  
「九州138号」(母) × 「九系248」(父)  
2003年交配、2004年以降、選抜および育成。
- 3) 用途 焼きいも、ペースト、菓子原料

### 2. 特性の概要

- (1) 上いも重は、標準栽培で高系14号比109%、早掘栽培で123%、晩植栽培で122%であり、多収である(第1表)。上いも1個重は高系14号並で、1株いも数は高系14号よりやや多い。
- (2) いもの皮色は赤紅で、やや薄い、いもの表面は滑らかで条溝や裂開もなく、いもの外観が優れる。
- (3) サツマイモネコブセンチュウには強いが、ミナミネグサレセンチュウにはやや弱である。萌芽性は「高系14号」並のやや不良である。貯蔵性は易である。
- (4) 蒸しいもの肉色は黄白、肉質は中、黒変度は中～やや少である。標準栽培における食味は高系14号より優れ、べにはるか並のやや上である。
- (5) 系統適応性検定試験では、愛媛、長崎、鹿児島と沖縄県において上いも重は標準品種を10%～40%程度上回り、判定は○～△であった。いもの外観は埼玉、長崎で標準品種より劣っていたが、その他の県では標準品種並みか上回った。蒸しいもの肉色は標準品種並みで、肉質はやや粉質から粘質まで県により違いが見られた。蒸しいもの食味は概ね標準品種並みであると評価された。

第1表 育成地の成績

系統名	上いも重 (kg/a)	同標率比 (%)	切干歩合 (%)	上いも1個重 (g)	1株上いも数	いもの外観	いもの皮色	センチュウ抵抗性		萌芽性	蒸しいも			
								ネコブ	初サレ		肉色	肉質	黒変	食味判定
<b>標準栽培(黒マルチ)</b> (植付: 5月13日 掘取: 10月16日)														
九州163号	323	109	32.4	213	4.0	中	赤紅	強	やや弱	やや不良	黄白	中	やや少	やや上
高系14号	297	100	30.1	228	3.5	やや下	赤	やや弱	やや強	やや不良	黄白	中	やや少	中(標準)
コガネゼンガン	372	125	35.9	250	4.0	やや下	黄白	中	やや弱	中	淡黄白	粉	中	中
べにはるか	339	114	35.9	192	4.7	やや上	赤紫	強	中	中	黄白	中	中	やや上
<b>早掘栽培(透明マルチ)</b> (植付: 4月23日 掘取: 8月4日)														
九州163号	178	123	35.5	132	3.6	やや上	紅	—	—	中	黄白	中	やや少	中
高系14号	145	100	32.5	121	3.2	やや下	赤	—	—	やや不良	黄白	中	やや少	中(標準)
コガネゼンガン	183	126	34.0	142	3.6	やや下	黄白	—	—	中	淡黄白	粉	中	中
べにはるか	169	117	36.1	109	4.1	中	赤紫	—	—	中	黄白	中	中	やや上
<b>晩植栽培(無マルチ)</b> (植付: 6月17日 掘取: 10月30日)														
九州163号	243	122	32.8	147	4.4	やや上	赤紅	—	—	—	黄白	中	中	(中)
高系14号	200	100	30.9	154	3.4	中	赤	—	—	—	黄白	やや粘	中	(やや下)
コガネゼンガン	281	141	34.9	117	6.4	中	黄白	—	—	—	淡黄白	やや粉	中	(中)
べにはるか	302	151	34.4	143	5.6	やや上	赤紫	—	—	—	黄白	やや粘	中	(やや上)

備考) 食味判定は約30名のパネラーにより行い、試験担当者のみによる評価を括弧で囲った。

## ○九州166号

### 1. 来歴

- 1) 系統名 九州166号  
(旧系統名：九系282、九系02228-27)
- 2) 交配組合せ  
「九系98160-1」(母) × 「ムラサキマサリ」(父)  
2002年交配、2003年以降、選抜および育成。
- 3) 用途 色素、加工原料用

### 2. 特性の概要

- 1) いもの形状は下膨紡錘形、皮色および肉色は濃紫、条溝は微、裂開および皮脈は無で、いもの外観はやや上である。
- 2) 標準栽培におけるアントシアニン色価はアヤムラサキやムラサキマサリの約2倍、単位面積当りの色素収量は約3倍である。
- 3) 上いも重は、標準栽培でアヤムラサキ比118%、長期マルチ栽培で同119%、早掘マルチ栽培で134%と多収である(表1)。
- 4) 切干歩合はアヤムラサキより2%、コガネセンガンより1.5%程度低いため、色素抽出用に向く。
- 5) 蒸しいもの食味は劣るが、ペーストはアヤムラサキより濃く、赤味の強い紫色を呈する。
- 6) サツマイモネコブセンチュウ抵抗性は強、ミナミネグサレセンチュウ抵抗性はやや強で貯蔵性は易である。

表1 育成地の成績(平成20、21年 生産力検定試験)

栽培条件	品種 または 系統名	試験 年度	萌芽 性	上いも重 (kg/a)	同左 標比 (%)	切干歩合 (%)	上いも株当り 1個重 (g)	上いも 個数	アントシアニン 色価	アントシアニン 収量 (g/a)
標準栽培	九州166号	平20	やや良	351	118	34.1	164	5.4	19.9	3001
		平21	やや良	309	119	33.6	172	4.7	23.3	3063
		平均	やや良	330	118	33.9	168	5.1	21.6	3032
	アヤムラサキ	平20	中	297	100	35.9	190	3.9	8.2	960
		平21	やや不良	260	100	36.2	191	3.6	10.3	1067
		平均	やや不良	279	100	36.1	191	3.8	9.3	1014
	コガネセンガン	平20	中	349	118	35.2	220	4.0	-	-
		平21	やや不良	341	131	35.6	259	3.5	-	-
		平均	やや不良	345	124	35.4	240	3.8	-	-
	ムラサキマサリ	平20	やや良	310	104	39.7	131	5.9	9.0	1167
		平21	やや良	226	87	38.8	135	4.4	9.1	1100
		平均	やや良	268	96	39.3	133	5.2	9.1	1134
長期マルチ栽培	九州166号	平20	-	301	119	32.7	311	4.3	-	-
		平21	-	475	119	34.8	280	6.1	18.9	4017
		平均	-	388	119	33.8	296	5.2	18.9	4017
	(標)	平20	-	252	100	35.8	355	2.5	-	-
	アヤムラサキ	平21	-	398	100	35.5	327	4.3	11.1	1620



## ○九州167号

### 1. 来歴

- 1) 系統名 九州167号  
(旧系統名：九系285、九系05231-2)
- 2) 交配組合せ  
「九系02244-51」(母) × 「九系00142-6」(父)  
2005年交配、2006年以降、選抜および育成。
- 3) 用途  
低温糊化性でん粉原料用
- 4) 特性  
低温糊化性でん粉

### 2. 特性の概要

- 1) いもの皮色は淡黄白で紅を帯び、肉色は淡黄白、いもの形状は短紡錘形である。
- 2) 上いも重は、標準栽培でコガネセンガン比106%とやや多収で、長期マルチ栽培では107%である。切干歩合・でん粉歩留まりはコガネセンガンやシロユタカと同程度である。単位面積当たりのでん粉重は、コガネセンガンより多いが、シロユタカよりは低い(表1)。
- 3) でん粉の糊化開始温度は57℃程度で、低温糊化性及び耐老化性のでん粉を含む。
- 4) サツマイモネコブセンチュウ抵抗性は強、ミナミネグサレセンチュウ抵抗性はやや強、貯蔵性はやや易である。
- 5) 特性検定試験において、立枯病抵抗性は弱、黒斑病抵抗性は強と判定された。

\* 「育成地の成績」データは、九州168号の「表1」参照

## ○九州168号

### 1. 来歴

- 1) 系統名 九州168号  
(旧系統名：九系284、九系04151-4)
- 2) 交配組合せ  
「ときまさり」(母) × 「九系99122-7」(父)  
2004年交配、2005年以降、選抜および育成。
- 3) 用途  
焼酎原料用
- 4) 特性  
高でん粉

### 2. 特性の概要

- 1) いもの皮色は黄白で、肉色は黄白、いもの形状は短紡錘形である。
- 2) 上いも重は、標準栽培でコガネセンガン比112%と多収で、長期マルチ栽培では109%である。切干歩合・でん粉歩留まりはコガネセンガンやシロユタカより3～5%程度高い。単位面積当たりのでん粉重はコガネセンガンやシロユタカより高い(表1)。
- 3) サツマイモネコブセンチュウ抵抗性は強、ミナミネグサレセンチュウ抵抗性はやや強、貯蔵性はやや易である。
- 4) 蒸しいもの肉色は淡黄で食味は中で、醸造した焼酎の官能評価は比較的良い。
- 5) 特性検定試験において、立枯病抵抗性はやや強、黒斑病抵抗性は強と判定された。

表1. 育成地の成績(平成20年 生産力検定予備試験、平成21年 生産力検定試験)

栽培 条件	品 種 または 系統名	試験 年度	萌 芽 性	上 い も 重 (kg/a)	同左 標比 (%)	切干 歩合 (%)	でん粉 歩留り (%)	でん粉 重 (kg/a)	同左 標比 (%)	センチュウ 抵抗性		貯 蔵 性	いも の 外 観	でん粉 糊化開始 温度(℃)
										ネコブ	ネグサレ			
標準 栽培	九州 167号	平20 平21 平均	中 やや良 中	269 319 294	97 115 106	33.4 33.9 33.7	24.8 24.6 24.7	67 79 73	103 122 113	強 強 強	やや強 強 やや強	— やや易 やや易	やや上 中 中	58.7 56.7 57.7
	九州 168号	平20 平21 平均	やや良 良 やや良	302 321 312	108 115 112	40.5 39.4 40.0	28.3 26.4 27.4	85 85 85	131 131 131	強 強 強	強 やや強 やや強	易 やや易 やや易	やや上 やや上 やや上	77.4 75.1 76.3
	(標準)	平20	やや良	279	100	33.5	23.3	65	100	中	やや弱	中	中	75.2
	コガネ センガン	平21 平均	やや良 やや良	278 279	100 100	34.3 33.9	23.2 23.3	65 65	100 100	やや弱 やや弱	弱 弱	やや難 やや難	中 中	73.4 74.3
	(比較)	平20	良	315	113	35.1	25.4	80	123	やや強	やや強	易	中	76.3
	シロ ユタカ	平21 平均	良 良	334 325	120 117	34.0 34.6	23.7 24.6	79 80	123 123	強 やや強	中 中	難 中	中 中	73.8 75.1
長期 マルチ 栽培	九州167号	平21	—	528	107	34.0	25.5	135	112	—	—	—	やや上	57.6
	九州168号	平21	—	540	109	38.6	27.4	148	123	—	—	—	やや上	—
	コガネセンガン	平21	—	495	100	34.7	24.4	121	100	—	—	—	中	73.0
	シロユタカ	平21	—	569	115	35.9	24.8	141	117	—	—	—	中	75.1

○九系 271

- 1) 系統名 九系 271  
(旧系統名: 九系 02132-1)
- 2) 交配組合せ  
「スターチクイン」(母) × 「九系 235」(父)  
2002 年交配、2003 年以降、選抜および育成。
- 3) 用途  
焼酎・でん粉原料用
- 4) 特性  
高でん粉、多収、ネコブセンチュウ抵抗性、貯蔵性やや易、直播適性

原料用生産力検定予備試験

(植付: 2006年5月12日 掘取: 9月29日 施肥量標準)

No.	系統名	上い も重 (kg/a)	同標 準比 (%)	切干 歩合 (%)	でん粉 歩留り (%)	でん粉 重 (kg/a)	同標 準比 (%)	上いも 1個重 上い も数 (g)	いも の 外観	いも の 皮色	センチュウ の 抵抗性		貯 蔵 性	直播 栽培 適性	
											ネコブ	ネグサレ			
1	九系271	283	103	37.9	25.6	72	115	216	3.5	やや上	淡黄白	強	やや弱	やや易	適
標準	コガネセンガン	275	100	36.1	22.8	63	100	180	4.0	中	黄白	やや弱	やや弱	やや難	やや不適
比較	シロユカ	273	99	35.9	23.2	63	101	167	4.3	中	白黄(紅)	強	中	やや難	中
比較	クイクスイート	193	70	34.0	20.2	39	62	196	2.6	やや上	濃赤紫	強	やや強	難	中

○九系 283 (平成 21 年度新規)

- 1) 系統名 九系 283  
(旧系統名: 九系九系 04129-3)
- 2) 交配組合せ  
「九系 99076-1」(母) × 「九州 125 号」(父)  
2004 年交配、2005 年以降、選抜および育成。
- 3) 用途  
焼酎原料用
- 4) 特性  
多収、センチュウ抵抗性、食味

○九州164号 (平成22年度新規)

1. 来歴

- 1) 系統名 九州164号  
(旧系統名：九系287、九系04042-9)
- 2) 交配組合せ  
九州138号(母) × 関東121号(父)  
2004年交配、2005年以降、選抜および育成。
- 3) 用途 青果用

2. 特性の概要

- 1) いもの皮色は赤紫で、いもの外観はやや優れる。
- 2) 蒸しいもの肉色は淡黄、肉質は中～やや粉質、黒変度は中である。標準栽培における食味は高系14号より優れ、べにはるか並のやや上である。
- 3) 上いも重は、標準栽培で高系14号比97%、早掘栽培で98%、晩植栽培で95%である(第1表)。上いも1個重は高系14号より少ないが、1株上いも数は高系14号よりやや多い。
- 4) サツマイモネコブセンチュウに強く、ミナミネグサレセンチュウにもやや強い。萌芽性は「高系14号」よりやや優れ、中～やや不良である。貯蔵性は易である。

第1表 育成地の成績

系統名	上いも重 (kg/a)	同標準比 (%)	切干歩合 (%)	上いも1個重 (g)	1株上いも数	いもの外観	いもの皮色	センチュウ抵抗性		萌芽性	蒸しいもの			
								ネコブ	ネグサレ		肉色	肉質	黒変	食味判定
標準栽培(黒マルチ) (播付:5月13日 掘取:10月13日)														
九州164号	308	97	36.6	182	4.5	やや上	赤紫	強	やや強	中	淡黄	やや粉	中	やや上
高系14号	316	100	32.8	253	3.3	やや下	赤	やや弱	やや強	やや不良	黄白	中	やや少	中(標準)
コガネセンガン	389	123	36.5	283	3.7	やや下	黄白	中	やや弱	中	淡黄白	粉	中	(中)
べにはるか	281	89	36.1	182	4.1	中	赤紫	強	中	中	黄白	中	中	やや上
早掘栽培(透明マルチ) (播付:4月20日 掘取:8月3日)														
九州164号	180	98	34.8	101	4.8	中	赤紫	—	—	やや不良	淡黄	中	中	やや上
高系14号	184	100	32.9	139	3.6	やや下	赤	—	—	不良	黄白	中	やや少	中(標準)
コガネセンガン	224	122	33.6	129	4.7	中	黄白	—	—	中	淡黄白	粉	中	(中)
晩植栽培(無マルチ) (播付:8月16日 掘取:10月27日)														
九州164号	158	95	33.0	139	3.0	中	赤紫	—	—	—	淡黄	中	中	(中)
高系14号	167	100	24.0	158	2.8	やや下	赤	—	—	—	黄白	やや粘	やや少	(中)
コガネセンガン	288	172	29.6	212	3.6	中	黄白	—	—	—	淡黄白	やや粉	中	(やや上)
べにはるか	244	146	32.4	155	4.2	やや上	赤紫	—	—	—	黄白	中	やや少	(やや上)

備考) 食味判定は約30名のパネラーにより行い、試験担当者のみによる評価を括弧で囲った。

○九州165号 (平成22年度新規)

1. 来歴

- 1) 系統名 九州165号  
(旧系統名：九系288、九系04008-3)
- 2) 交配組合せ  
九系255(母) × パープルスイートロード(父)  
2004年交配、2005年以降、選抜および育成。
- 3) 用途 青果用

2. 特性の概要

- 1) いもの皮色は赤紅で、形状は長紡錘形であり、条溝、裂開および皮脈は見られない。
- 2) 蒸しいもの肉色は紫～濃紫で、肉質は中である。食味は種子島紫並の中～やや上である。
- 3) 上いも重は、標準栽培で高系14号比63%、早掘栽培で72%、晩植栽培で58%と低収である(第1表)。上いも1個重は高系14号より少なく、1株いも数は高系14号並みである。
- 4) サツマイモネコブセンチュウにやや強く、ミナミネグサレセンチュウには中程度の抵抗性を持つ。萌芽性は「高系14号」より優れ、やや良である。貯蔵性は易である。

第1表 育成地の成績

系統名	上いも重 (kg/a)	同標準比 (%)	切干歩合 (%)	上いも1個重 (g)	1株上いも数	いもの外観	いもの皮色	センチュウ抵抗性		萌芽性	蒸しいもの肉質			
								ネコブ	グサレ		肉色	肉質	黒変	食味判定
標準栽培(黒マルチ) (植付: 5月13日 掘取: 10月13日)														
九州165号	199	63	38.1	127	4.1	やや下	赤紅	やや強	中	やや良	紫	中	—	中
高系14号	316	100	32.8	253	3.3	やや下	赤	やや弱	やや強	やや不良	黄白	中	やや少	中
種子島紫	156	49	31.9	284	1.5	下	紫	やや強	やや強	やや不良	淡紫	やや粘	—	中(標準)
パープルスイートロード	392	124	34.2	229	4.6	中	紫	強	やや強	やや不良	淡紫	やや粉	—	中
早掘栽培(透明マルチ) (植付: 4月20日 掘取: 8月3日)														
九州165号	132	72	38.0	90	3.9	中	赤紫	—	—	やや良	濃紫	中	—	中
高系14号	184	100	32.9	139	3.6	やや下	赤	—	—	不良	黄白	中	やや少	中
種子島紫	107	58	30.6	156	2.0	やや下	紫	—	—	やや良	紫	やや粘	—	中(標準)
晩植栽培(無マルチ) (植付: 6月16日 掘取: 10月27日)														
九州165号	96	58	31.8	111	2.3	中	赤紅	—	—	—	紫	中	中	(やや上)
高系14号	167	100	24.0	158	2.8	やや下	赤	—	—	—	黄白	やや粘	やや少	(中)
種子島紫	105	63	24.7	150	1.8	下	紫	—	—	—	淡紫	中	—	(やや上)
パープルスイートロード	226	135	30.2	155	3.8	やや上	赤紫	—	—	—	紫	中	—	(中)

備考) 食味判定は約30名のパネラーにより行い、試験担当者のみによる評価を括弧で囲った。下線は肉色が紫であることを示す。

○九系289 (平成22年度新規)

1. 来歴

1) 系統名 九系289

(旧系統名：九系05159-8)

2) 交配組合せ

「九系247」(母) × 「九州153号」(父)

2005年交配、2006年以降、選抜および育成。

3) 用途

でん粉・焼酎原料用

4) 特性

高でん粉、センチュウ抵抗性

○九系290 (平成22年度新規)

1. 来歴

1) 系統名 九系290

(旧系統名：九系05171-1)

2) 交配組合せ

「べにまさり」(母) × 「九系261」(父)

2005年交配、2006年以降、選抜および育成。

3) 用途

焼酎原料用

4) 特性

多収、センチュウ抵抗性、外観、萌芽性

○九系291 (平成22年度新規)

1. 来歴

1) 系統名 九系291

(旧系統名：九系02166-3)

2) 交配組合せ

「九系236」(母) × 「ムラサキマサリ」(父)

2002年交配、2003年以降、選抜および育成。

3) 用途

直播栽培向け原料用

4) 特性

多収、センチュウ抵抗性

原料用生産力検定予備試験		標準栽培(マルチ無し) (植付: 5月13日 掘取: 10月9日 施肥量標準)															
新系統名	No.	系統名	上い も重 (kg/a)	同標 準比 (%)	切干 歩合 (%)	切干 重 (kg/a)	同標 準比 (%)	でん粉 歩留り (%)	でん粉 重 (kg/a)	同標 準比 (%)	上い も率 (%)	上いも 1個重 (g)	1株 上い も数	圃場 判定	いも の外観	いも の皮色	
九系289	1	05159-8	338	99	40.9	138	112	27.3	92	113	95	207	4.3	やや良	中	白	
九系290	2	05171-1	358	105	39.0	139	113	24.9	89	109	96	295	3.2	やや良	上	淡黄褐	
九系291*	3	02166-3	320	(116)	34.3	110	110	21.9	70	(112)	95	216	3.9	やや良	やや上	白(紅)	
		標準 比較	コカネセンガン シロユ効	341 292	100 86	36.0 35.8	123 105	100 85	24.0 23.6	82 69	100 84	95 97	335 217	2.7 3.7	良 やや良	やや下 中	黄白 白(紅)

\*: 平成18年の挿苗栽培での成績を示す。直播栽培の成績は直播用生産力検定予備試験を参照。